

4 ワーク・ライフ・バランスについて

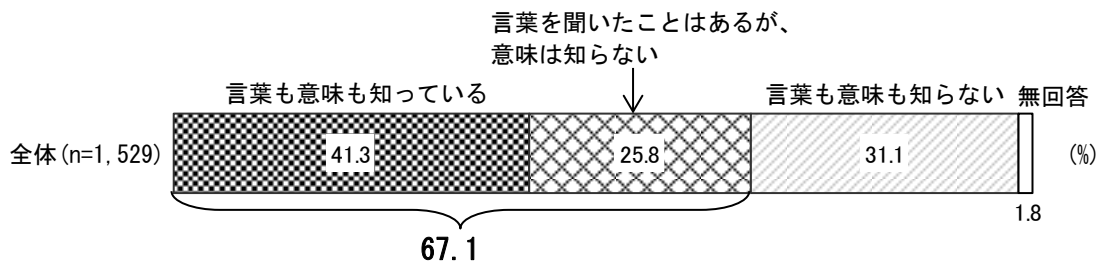
(1) 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度

◇『言葉を聞いたことがある（計）』が約7割

県では、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」（以下「ワーク・ライフ・バランス」といいます）を図ることができる働き方の実現を目指して、様々な取組を進めています。今後の取組の参考とするため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問26 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。（○は1つ）

<図表4-1> 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度



「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度を聞いたところ、「言葉も意味も知っている」（41.3%）と「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」（25.8%）を合わせた『言葉を聞いたことがある（計）』（67.1%）が約7割となっている。

一方、「言葉も意味も知らない」（31.1%）が3割を超えている。（図表4-1）

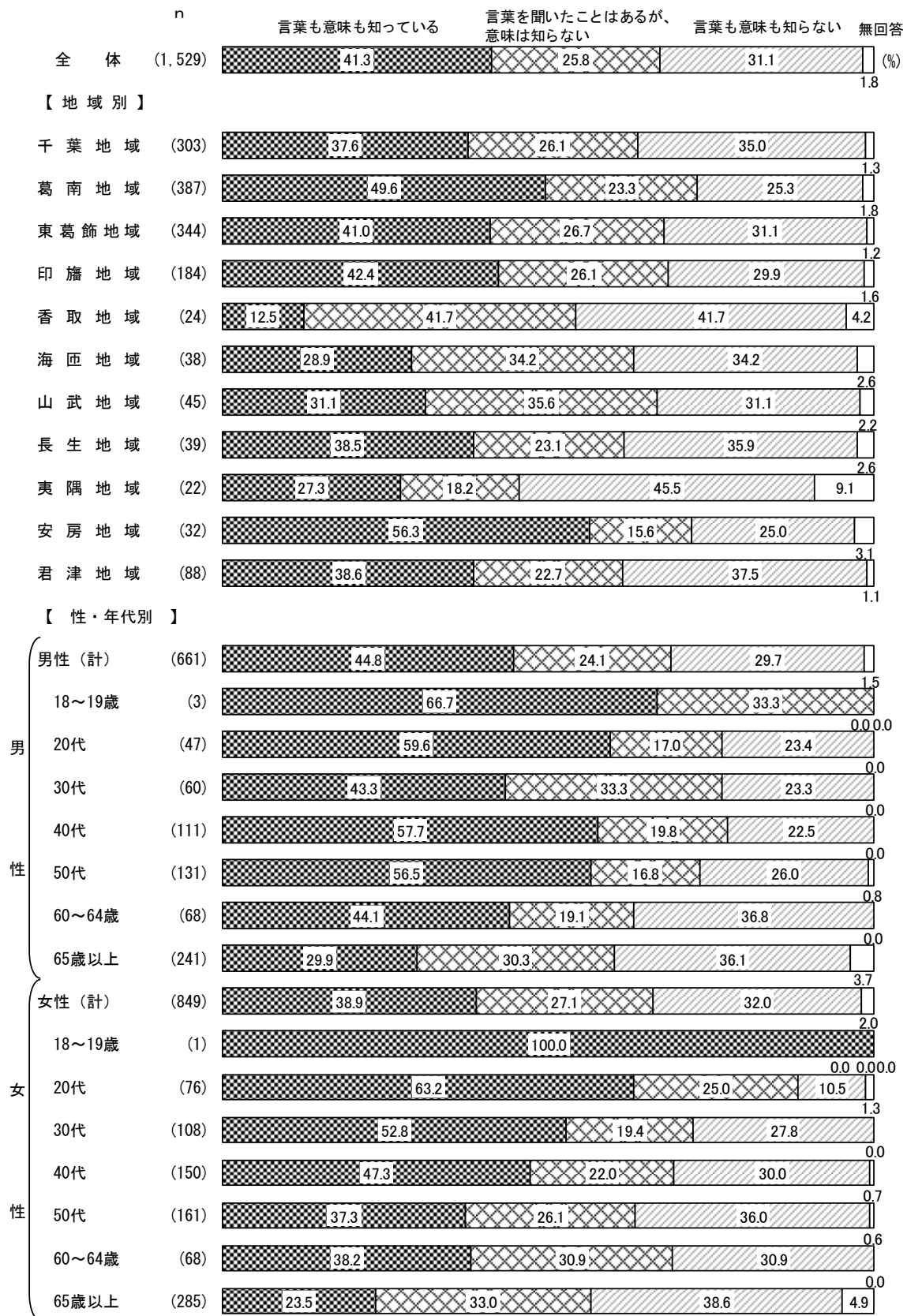
【地域別】

地域別にみると、『言葉を聞いたことがある（計）』は“葛南地域”（72.9%）が7割を超えて高くなっている。（図表4-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『言葉を聞いたことがある（計）』は女性の20代（88.2%）が約9割、男性の40代（77.5%）が約8割で高くなっている。（図表4-2）

<図表4-2> 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度／地域別、性・年代別



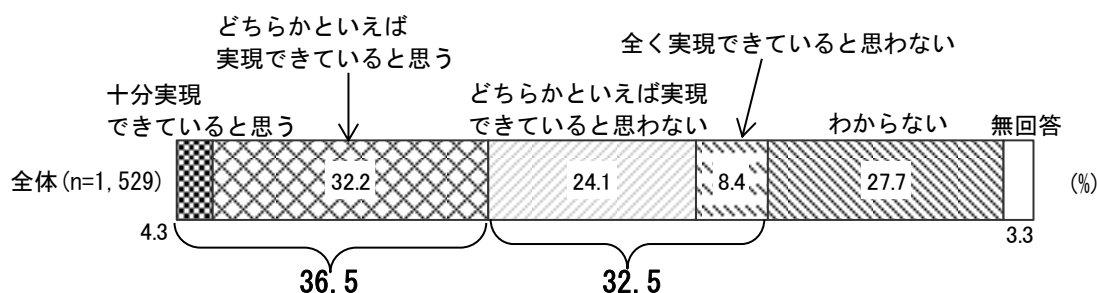
（2）ワーク・ライフ・バランスの実現度

◇『実現できていると思う（計）』が3割台半ば

問27 あなたは、自身のワーク・ライフ・バランスは、どの程度実現していると思いますか。現在、お仕事をされていない場合は、ご家族などの身近な人を想定してお答えください。

（○は1つ）

<図表4-3>ワーク・ライフ・バランスの実現度



ワーク・ライフ・バランスについて実現度を聞いたところ、「十分実現できていると思う」(4.3%)と「どちらかといえば実現できていると思う」(32.2%)を合わせた『実現できていると思う(計)』(36.5%)が3割台半ばとなっている。

一方、「どちらかといえば実現できていないと思う」(24.1%)と「全く実現できていないと思う」(8.4%)を合わせた『実現できていないと思う(計)』(32.5%)が3割を超えている。

(図表4-3)

【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表4-4)

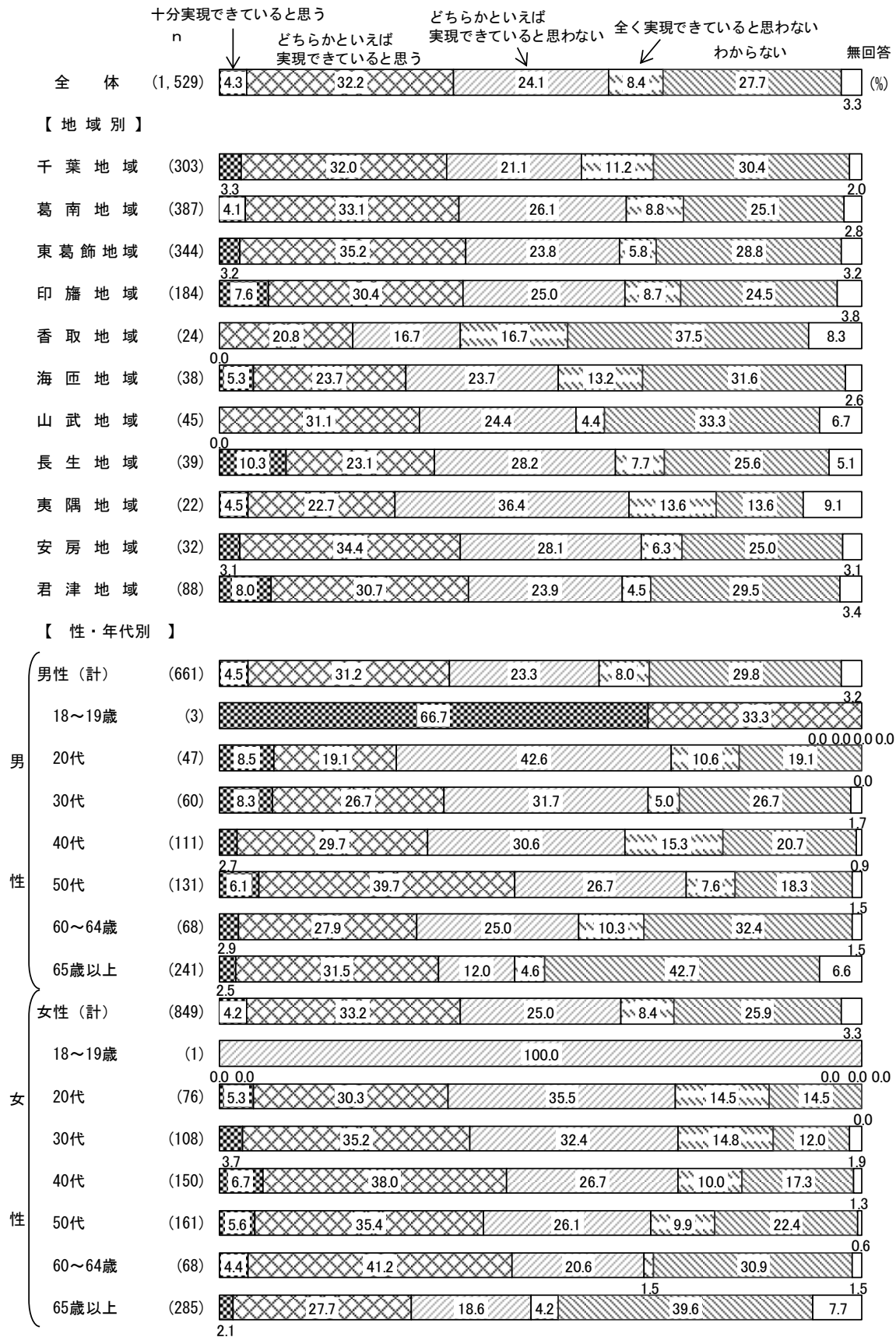
【性・年代別】

性・年代別にみると、『実現できていると思う(計)』は男性の50代(45.8%)と女性の40代(44.7%)が4割台半ばで高くなっている。

一方、『実現できていないと思う(計)』は男性の20代(53.2%)が5割を超え、女性の20代(50.0%)が5割、女性の30代(47.2%)が約5割、男性の40代(45.9%)が4割台半ばで高くなっている。

(図表4-4)

<図表4-4>ワーク・ライフ・バランスの実現度／地域別、性・年代別



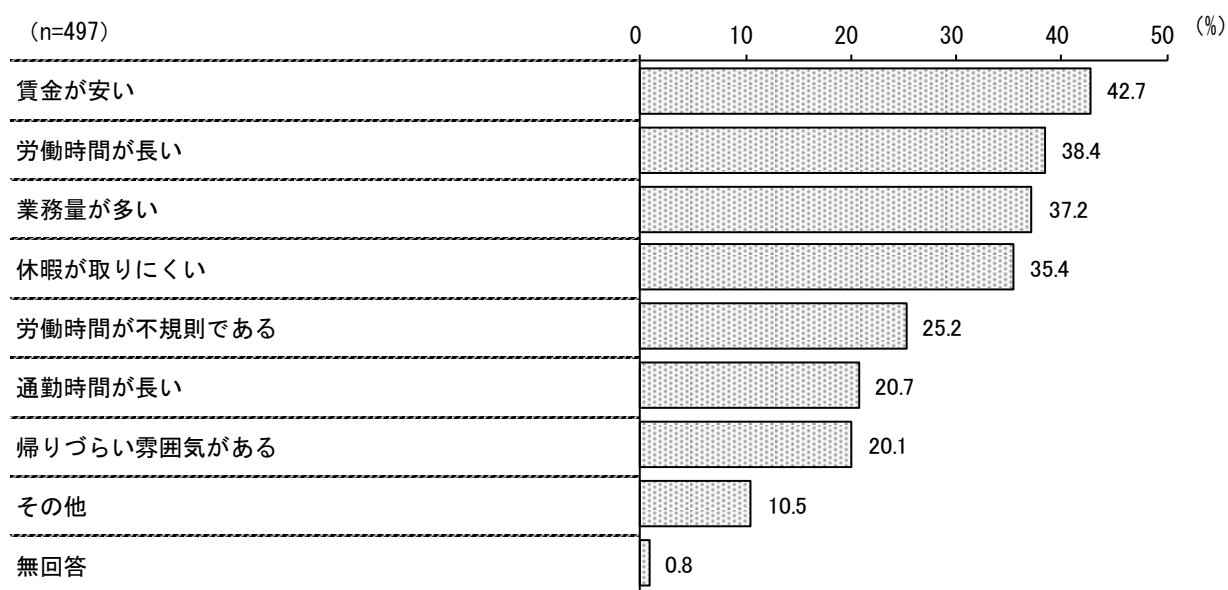
（2-1）職場において支障となっている点

◇「賃金が安い」（42.7%）が4割を超える

（問27で「どちらかといえば実現できていると思わない」、「全く実現できていると思わない」とお答えの方に）

問27-1 ワーク・ライフ・バランスの実現に当たり、職場において支障となっている点は何ですか。（〇はいくつでも）

<図表4-5>職場において支障となっている点

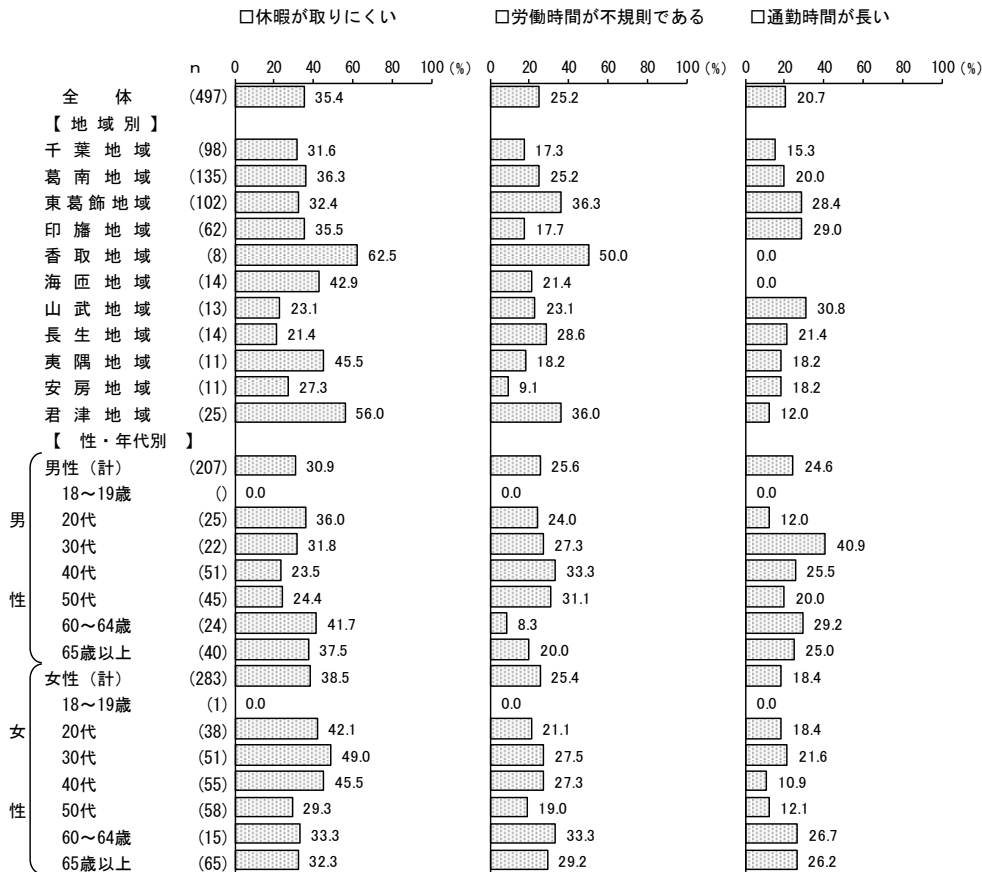
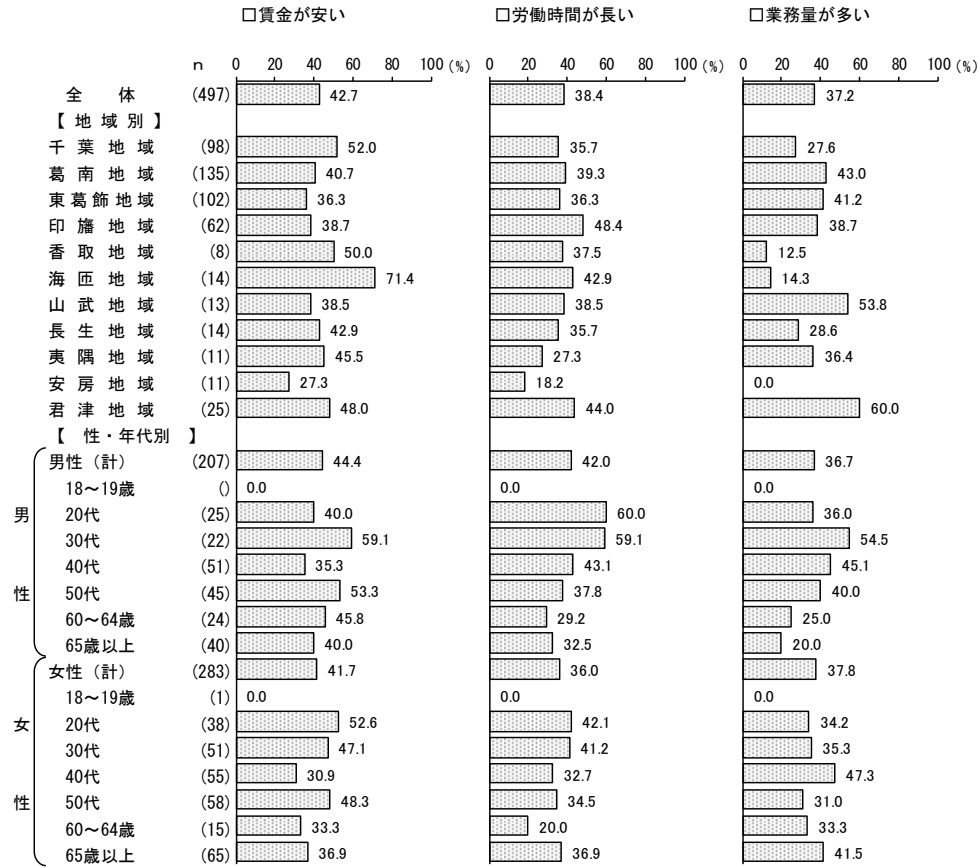


ワーク・ライフ・バランスの実現度について、『実現できていると思わない（計）』と回答した497人に職場で支障となっている点を聞いたところ、「賃金が安い」（42.7%）が4割を超えて最も高く、以下、「労働時間が長い」（38.4%）、「業務量が多い」（37.2%）、「休暇が取りにくい」（35.4%）が続く。（図表4-5）

※サンプル数が少ないため、【地域別】及び【性・年代別】における属性の分析は触れていない。

（8ページ「報告書の見方（6）」を参照）

＜図表4-6＞職場において支障となっている点／地域別、性・年代別

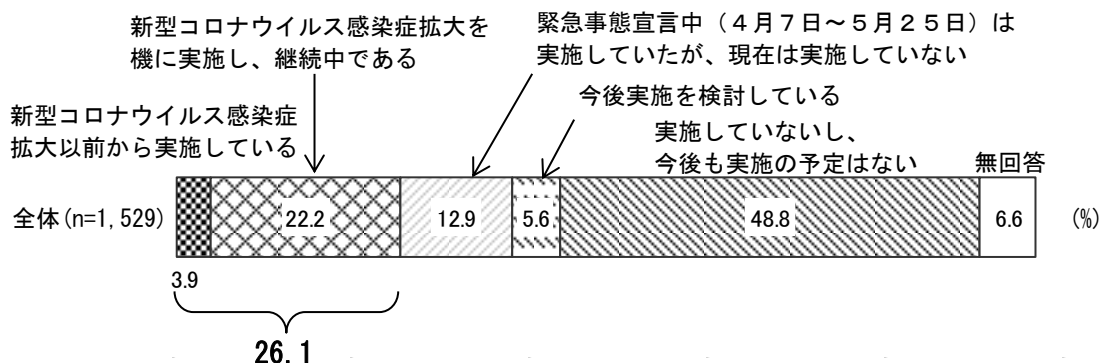


（3）新型コロナウイルス感染症対策としてのテレワークの実施状況

◇『実施している（計）』が2割台半ば

問28 新型コロナウイルス感染症対策として、テレワーク（インターネット等の情報通信技術を活用し、自宅等で仕事を行う勤務形態）を実施していますか（週数回等の部分的なテレワークも含む）。現在、お仕事をされていない場合は、ご家族などの身近な人を想定してお答えください。（○は1つ）

<図表4-7>新型コロナウイルス感染症対策としてのテレワークの実施状況



新型コロナウイルス感染症対策としてのテレワークの実施状況を聞いたところ、「新型コロナウイルス感染症拡大以前から実施している」（3.9%）と「新型コロナウイルス感染症拡大を機に実施し、継続中である」（22.2%）を合わせた『実施している（計）』（26.1%）が2割台半ばとなっている。

一方、「緊急事態宣言中（4月7日～5月25日）は実施していたが、現在は実施していない」（12.9%）と「実施していないし、今後も実施の予定はない」（48.8%）を合わせた『現在実施していない、今後実施の予定はない（計）』（61.7%）が6割を超える。（図表4-7）

【地域別】

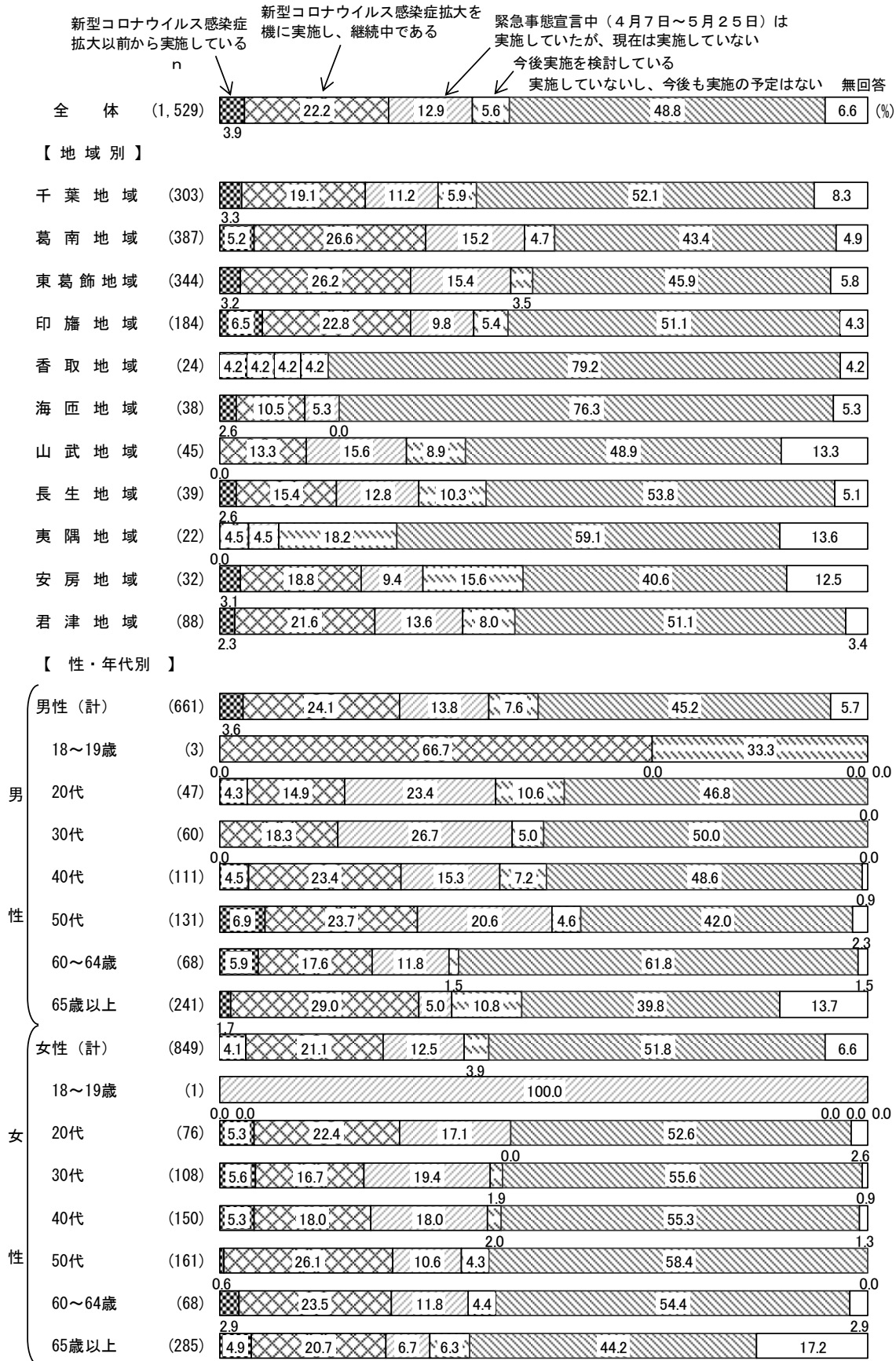
地域別にみると、『実施している（計）』は“葛南地域”（31.8%）が3割を超えて高くなっている。

『現在実施していない、今後実施の予定はない（計）』は“香取地域”（83.3%）と“海匠地域”（81.6%）が8割を超えて高くなっている。（図表4-8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『現在実施していない、今後実施の予定はない（計）』は男性の30代（76.7%）と女性の30代（75.0%）、男性の60～64歳（73.5%）が7割台半ば、女性の40代（73.3%）が7割を超え、女性の50代（68.9%）が約7割で高くなっている。（図表4-8）

<図表4-8>新型コロナウイルス感染症対策としてのテレワークの実施状況／地域別、性・年代別



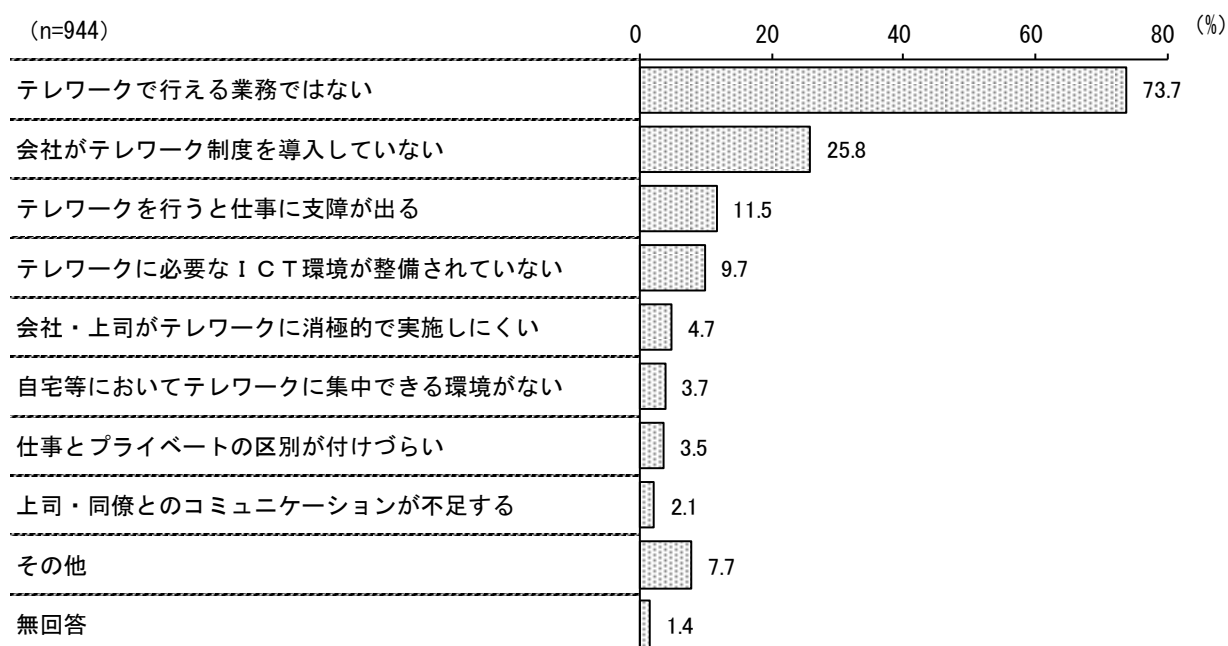
（3-1）テレワークを実施していない理由

◇「テレワークで行える業務ではない」が7割台半ば

（問28で「緊急事態宣言中（4月7日～5月25日）は実施していたが、現在は実施していない」、
「実施していないし、今後も実施の予定はない」とお答えの方に）

問28-1 テレワークを実施していない理由をお答えください。（〇はいくつでも）

<図表4-9>テレワークを実施していない理由



新型コロナウイルス感染症対策としてのテレワークについて、『現在実施していない、今後実施の予定はない（計）』と回答した944人にテレワークを実施していない理由を聞いたところ、「テレワークで行える業務ではない」（73.7%）が7割台半ばで最も高く、以下、「会社がテレワーク制度を導入していない」（25.8%）、「テレワークを行うと仕事に支障が出る」（11.5%）が続く。（図表4-9）

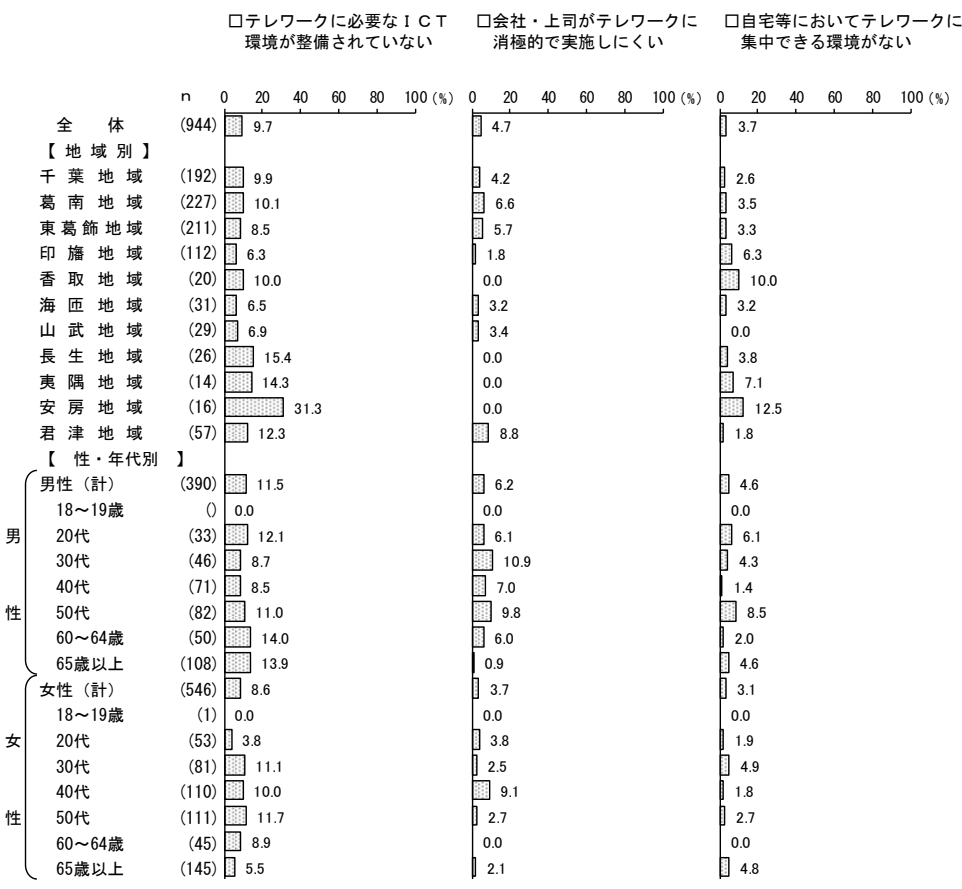
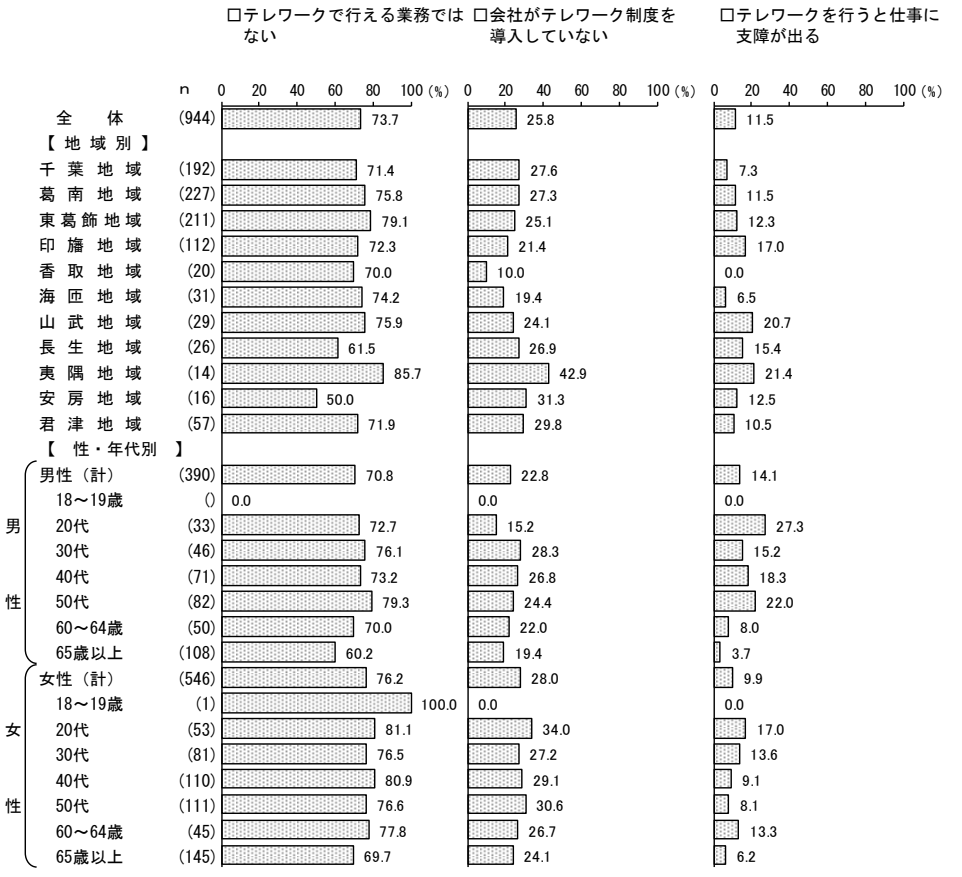
【地域別】

地域別にみると、「テレワークで行える業務ではない」は“東葛飾地域”（79.1%）が約8割で高くなっている。（図表4-10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「テレワークを行うと仕事に支障が出る」は男性の20代（27.3%）が約3割、男性の50代（22.0%）が2割を超えて高くなっている。（図表4-10）

<図表4-10>テレワークを実施していない理由／地域別、性・年代別



このほかに、「ワーク・ライフ・バランスについて」やここまでの質問（問26～問28）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、136人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「ワーク・ライフ・バランスについて」の自由回答（抜粋）

- テレワークは家族も対応が大変です。会議や打ち合わせ中には物音をたてない、会話をひかえる、テレビを消すなどの対応をしていますが、とても大変です。政府や企業も「テレワークしてください」というだけでなく、環境整備の面も考えてほしいです。
(女性、40代、葛南地域)
- 正規雇用と非正規雇用の労働条件の格差が多いと思う。
(女性、18～19歳、印旛地域)
- 職場にも伝えているが、早く退勤することを推奨するならば、仕事量を精査してもらわないとバランスが取れない。
(女性、30代、千葉地域)
- 育児のための時短制度があっても、替わりの職員を雇ってもらえないため、現実的に制度を活用できない。気兼ねなく堂々と時短制度を使えるとよい。
(女性、30代、印旛地域)
- ターミナル駅に公的なフリーオフィスを設置してほしい。
(男性、30代、東葛飾地域)
- 無理な労働条件、職場環境は改善すべきであるが、労働意欲の盛んな者が自由意思で働くことまで過度に規制する制度、政策でなく、各々が自由に都合や事情に合わせて働ける職場づくりを目標としてほしいと思う。
(男性、20代、東葛飾地域)
- コロナ禍で広まったテレワーク等、働き方も変わり始めたものの、対応できない職種も多くあることを充分理解してほしい。
(女性、65歳以上、安房地域)
- 制度があっても、「テレワーク＝サボリ」とみなす職場の空気があり活用しにくい。
(男性、50代、葛南地域)
- 大企業や公務員については取り入れ易いと思いますが、地方の中小零細企業ではまだまだ難しい。
(男性、65歳以上、夷隅地域)
- 男性も家事に参加していけば、ワーク・ライフ・バランスが実現できると思います。
(女性、50代、東葛飾地域)